

令和3年10月吉日

関係各位

一般社団法人日本ドローン活用推進機構
代表理事 川村 智
(公印省略)

十三湖鳥獣被害対策研究会 ドローン飛行実証実験について(事前通知)

拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和3年6月、一般社団法人日本ドローン活用推進機構(所在地:青森市、代表理事:川村智)は十三漁業協同組合(所在地:五所川原市、代表理事組合長:相川利幸)など6団体と連携し、十三湖のシジミをカモの食害から守るためにドローンを使用した実証実験や被害調査に取り組むべく十三湖鳥獣被害対策研究会を発足いたしました。

この度、同研究会において、高精細な4Kカメラと夜間でも撮影可能な赤外線カメラを搭載したエアロセンス社製ドローンを使用した実証実験を実施する運びとなりましたので、関係各位の皆様にご案内申し上げます。

引き続き本事業にご理解くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時:令和3年11月5日(金) 13:45~15:00
 2. 会場:十三漁業協同組合(〒038-0403 五所川原市十三羽黒崎133)
- ※ 不明な点があれば担当者までお問い合わせください。

以上



【問い合わせ先】

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田138番地6
TEL017-715-0499 FAX017-715-1662

一般社団法人日本ドローン活用推進機構

事務局担当 能登 電話 080-8016-8637

Eメール noto.m@aoimori-rri.jp

杉森 電話 090-9422-9026

Eメール sugimori.y@aoimori-rri.jp

<離着陸地点見取り図>



注意事項

- ① 離着陸地点は出来るだけ広く半径5～10m 程度の範囲を確保する。
- ② 見学位置は安全のため注意喚起の「のぼり」の内側には入らないように指示する。
- ③ 飛行前は安全のため、声かけを行う。

<飛行予定プラン>



補足説明

約 4.5km の距離の往復は約 10 分。

画像のようなフライトプランの場合、バッテリーを交換して、フライトを 2 本行う。

進行予定

- ・ 飛行前機体組立及び点検作業(約 30 分)
- ・ 1 回目自動飛行フライトプラン設定(約 10 分)
- ・ 1 回目フライト(約 10 分)
- ・ バッテリー交換(約 10 分)
- ・ 2 回目自動飛行フライトプラン設定(約 10 分)
- ・ 2 回目フライト(約 10 分)
- ・ 機体撤収、のぼり等バリケード撤収(約 30 分)